

ゆかり染とその下絵についてー下絵文様の保存と活用ー

付 ゆかり染ワンピース「流れ小花」

目的：ゆかり染とは貝島百合子氏によって考案された染色技法である。小麦粉糊を防染剤として用いるなど、家庭でも染色できる方法によって作品が制作されている点に特徴がある。先行研究において、ゆかり染下絵のデジタルデータ保存が行われた。仮絵羽仕立ての和服下絵は衣桁にかけた状態でデジタルカメラ撮影されていたが、撮影画像に歪みが生じたり、同条件での撮影が困難であるなどの問題が生じていた。そこで本研究ではこれらの問題を解消したゆかり染下絵のデジタルデータ保存を目的とし、近年一般化してきたドローンを用いての大型紙資料撮影方法について検討したので報告する。さらに、撮影した下絵の画像を活用して染色を行い、ワンピース制作を行った結果についても報告する。

方法：研究対象は本学短大棟資料室に収蔵されている貝島百合子筆ゆかり染下絵の中から、下絵保管箱 No. 6 中の 12 作品 16 点とした。撮影機器は MAVIC MINI (DJI 製) を用い、撮影範囲と歪み、風の影響、資料の固定方法について検討した。作品制作は『ゆかり染』（貝島百合子著、婦人画報社 1977 年）に記された方法で布帛染色を行った。また、染色した模様はゆかり染下絵 No.91 「ペルシャ華文」の一部を抽出し、再配置して使用した。

結果：今回使用したドローンは室内でも飛行可能なカメラ付き小型機である。これを用いたところ、下絵の撮影に必要な範囲の撮影が可能であり、画像の歪みもほとんど見られなかった。和服下絵のような大型資料のデジタルデータ保存には、大型スキャナーが必要であると思われたが、今回用いた小型ドローンでも下絵全体画像を PC 画面で閲覧したり、A4 判用紙に印刷する程度であれば対応可能であることが分かった。制作したワンピースはベルト付きローウエストのレクタングラーシルエットとし、スカートにプリーツを付した。上品な仕上がりとなるようヨークと陰プリーツに模様を配置した。